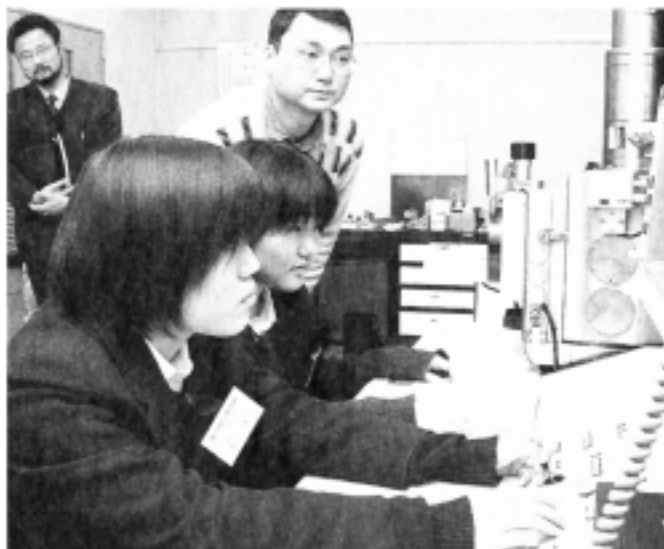


東濃版

今年から2年生全員

多治見工高の161人



指導を受けながら、電子顕微鏡で資料を観察する多治見工業高校2年生＝多治見市旭ヶ丘の名古屋工業大学セラミック研究室で

どきどきどき 職場体験

大変だった

でも、3日間で慣れた

県立多治見工業高校の2年生161人が県内外の事業所計46カ所に分かれ、十五日までの三日間、インターンシップ

（就業体験学習）に参加した。生徒が働く場を体験し、今後の高校生活や進路選択に役立てるのを

目的に実施。従来、三年生の希望者を対象に実施していたが、今年から二年生全員に拡大。東濃地区や名古屋の企業、医療福祉機関、大学などの教育機関などが協力した。このうち多治見市旭ヶ丘の名古屋工業大学セラミック基礎工学研究センターでは、同校セラミック科の林山恵さん、有機化学部さんが実習、同センター持宮の指導員、同プラズマ加熱による炭化反応実験や電子顕微鏡で粘土やアルミナを観察した。元薬を分析する実験などを行った。二人は「初めての事はかなり難しかった」と振り返りながらも、顕微鏡操作にも慣れた様子。「これからの勉強に生かしていきたい」と話し